



吉子川



令和7年11月7日(金)
学校だより NO. 46
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
十か条 (11月)

力を合わせてみんなで前進
仲間がいるから頑張れる

◇ クマ出没警報 ～県内人身事故20人～ ◇



左の地図は、令和7年度福島県クマ目撃マップの一部です。幸いなことに、現在のところ中島村では1件もありません。しかし、昨年度は、松崎地区（滑津小学区）で1件ありました。大切なのは、クマがどこにいるのかを知ることです。ぜひ参考にしてください。

現状では、子どもの登下校で緊急対策までは必要ないかと思えます。しかし、クマに遭遇する可能性は0ではないので、子どもたちに指導していきたいと思えます。各家庭での注意もお願いします。

<今後の指導事項>

- ① クマとの遭遇多発ポイントを避ける。→裏面のチラシを参考にしてください。
- ② 出会ってしまったら
 - ・近くに建物や車など逃げ込める場所があり、クマとの距離が確保できている場合は、速やかに避難する。
 - ・近くに大人がいる場合は、警察、学校等に連絡してもらうよう依頼する。
 - ・クマとの距離が確保できていない場合は、背を向けたり、走ったりする行動を避け、目を離さず静かにゆっくり後退し、建物等の逃げ込める場所があれば避難する。
- ③ 向かってきたら
 - ・クマが攻撃してきたら頭、首を腕でかばい、顔を伏せることで顔の打撃がや致命傷を防ぐ。

<今後の学校の対応>

- ①施設管理
 - ・ゴミの管理を徹底し、クマの食べ物になるものを無造作に捨てないようにします。
 - ・校地周辺の除草を行い、クマが隠れることができる状況を作らないようにします。
- ②緊急体制の構築
 - ・クマ出没時の対応について、登下校時及び校地内侵入時を想定し、教職員の役割分担や避難方法を定め、全員で共通理解を図ります。
- ③保護者との連携
 - ・クマ目撃情報が入ったら、緊急対応が必要かを判断し、状況に応じて「マチコミメール」でお知らせします。
 - ・緊急対応の場合、保護者引き渡しを行います。送迎のご協力をお願いします。



各ご家庭でも、クマに出会わないためにできることを積極的に行い、くれぐれも被害に遭わないようご注意ください！



クマの出没、人身事故多発中！警戒を！！

ツキノワグマ 出没警報 発令中(会津・中通り)

今年度はクマの目撃件数及び人身被害がすでに過去最多となっている非常事態です。今年のクマは山のエサ不足で腹を空かせています。通常、出没が減少する9月以降も出没数がさらに増加しており、この傾向は今後も続くと考えられます。

1人1人が普段の生活から気をつけることで、人身事故を減らすことができます。

裏面には、事故を減らすための10箇条をまとめました。

今年は通常の年とは状況が異なることを踏まえた行動をお願いします。

区域・期間 会津・中通り地域「ツキノワグマ出没警報」 令和7年9月11日～令和7年12月15日

※中通り地域においても9月11日～12月15日まで「ツキノワグマ出没注意報」を発令中です。



クマとの遭遇 多発ポイント

林縁部や藪付近



ここが危険！

クマとの遭遇 多発ポイント

納屋・畜舎



クマとの遭遇 多発ポイント

果樹周辺



クマとの遭遇 多発ポイント

農作業・草刈り



クマとの遭遇 多発ポイント

朝夕の散歩



クマとの遭遇 多発ポイント

登山や仕事での入山



クマとの遭遇 多発ポイント

キノコ採り



クマとの遭遇 多発ポイント

河川敷



クマに出会わないためにできること

1 目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのかわかることが大切です。
県警のポリスメールや自然保護課の目撃マップを活用しましょう。

クマの目撃マップは
こちら↓



警察ホームページ

2 クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、クマに自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つなど追い払いを行いましょう。

各地方振興局でクマ鈴を貸出します

3 朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

4 屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは餌に対する執着が非常に強いです。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

問い合わせ先 福島県自然保護課 024 (521) 7210